

## 第8回危機対策会議

改めて週末にもかかわらず、皆さんお疲れ様である。

八潮市中央一丁目の交差点中央付近の陥没により男性1名が乗ったトラックが落下する事故発生から5日が経過した。

昨日、救助活動用のスロープ設置について、関係者の皆様の多大なご協力により前倒しで設置できたものの、下水の流入が続き、足元の確保ができないために救出活動を担う草加八潮消防等では活動に支障が生じているところである。

しかしながら今、瓦礫の撤去を含め、引き続き可能な限りの救出活動が継続をしているところである。

下水管の下流部分に何らかの支障が生じている可能性があり、これに対する対策の検討を国交省、日本建設業連合会、埼玉県建設業協会、消防、自衛隊等を交えて進めているが、救出や復旧までさらなる時間を要する可能性が高く、県民、事業者の皆様や周辺道路を利用される皆様には長期間にわたり、大変なご迷惑をおかけすることになる。

その一方で、現時点で可能な作業については遅滞なく推進するとともに、応急復旧の準備も怠らずに進めていただきたいと思う。

改めて本事故に伴い被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げるとともに、被害の拡大防止やその影響を最小限にするよう、県として全力を尽くしていかなければならない。

他方、職員においては、多くの県民の方々にご負担、ご迷惑をおかけしていることを改めて認識をするとともに、国や市町村、消防、警察、ライフライン事業者だけでなく、あらゆる関係機関との連携を密にし、様々な側面から地域を支えることができるよう、ワンチームでの対応をお願いする。

12市町、120万県民・事業者のご協力のおかげで、昨夜懸念された下水の流入水は下がっているものの、根本的な解決に至ってはいない。

引き続き、洗濯や風呂の頻度を下げていただくなど、可能な範囲でご協力をお願いします。

また、県からの情報発信に際しては、風呂、洗濯の利用を控えらるなどの曖昧な言葉ではなく、風呂、洗濯の頻度を下げていただくといった明確な発言をお願いします。

最後に、国土交通省、消防庁、自衛隊等の国や日本建設業連合会をはじめとする企業団体の皆様に改めて感謝を申し上げるとともに、県民の皆様にはご迷惑をおかけしているが、引き続きのご協力、ご理解をいただけるようお願いを申し上げます。

以上。